



株式会社長井精機

高崎市



代表者：長井宏幸 住所：高崎市上豊岡町 561-23
 設立年月日：1955年12月1日 TEL：027-343-5881
 資本金：5,000万円 URL：https://www.nagaiseiki.co.jp
 従業員数：31人



WEB サイト

● 事業者紹介

豊かで快適な暮らしのライフラインとして、さらには経済発展のための礎として、世界中で必要とされているのが電力です。私たち長井精機は、そうした大切な電力を生み出す発電設備の重要部品であるタービンブレードの製造を手掛けている専門メーカーです。より発電効率の高い発電設備の実現に向けテクノロジーが進歩する中、それに応える高品質・高精度のタービンブレードをお客様に供給することで、世界を明るく幸せにしていく技術者集団でありたいと考えています。

● 経緯・背景

先代の時より「亡己利他」を大切に、自分以外の人のために何ができるかを考えて行動してきました。社員一人ひとりがSDGsについて考えて行動した結果をホームページで発信していくことで、社員のモチベーション向上に繋がると考えています。



● 具体的な取組や成果

社員はもちろん、その家族の安全と健康を第一に考えた取組により社員の意識を変え、コミュニケーション力のアップと生産性向上に繋がっています

【具体的な取組】

- 健康器具の設置
社員が休憩中などに健康な体づくりができるよう、トレーニングルームを設置。
- 産休・育休が取りやすい環境づくり
女性はもちろん、男性の育休取得を推進。
- 大型換気設備の導入
働きやすい環境づくりのため、換気や夏場の熱がこもらないような大型換気設備を導入。
- 刃物のリサイクル
最後まで使うことを意識し、すぐに廃棄するのではなく、使えなくなるまで研磨し、再利用。
- VPP(バーチャル・パワー・プラント=仮想発電所)の導入
国の目指す、電気をより上手に使う社会に向け、非常時は「防災用電源」として使用することで地域の防災性の向上に貢献。

【成果】

- 健康器具の設置をしたことで、休憩時間を利用して体を鍛え、汗を流すだけでなく、コミュニケーションの場としても利用されています。
- 上司が率先して育休を取得することにより、周りの人々が育休を取得しやすい環境がつけられ、普段から助け合う風土や、男女問わず、子供の看病でも休暇を取りやすい環境になっています。これまで男性従業員20名中6名が育休を取得しました。
- コロナの流行で換気が重視される中、大型換気設備の導入により広い工場内のしっかりと換気が可能に。また温暖化の影響で夏の暑さが厳しくなる中、冷風機との併用により、熱中症対策としても活躍しています。
- 通常、小径工具は使い捨て、大径工具は数回の研磨で廃棄するが、自分たちの研磨技術を生かし、小径工具も大径工具も使えなくなるまで研磨を繰り返し使用。従業員にものを大事に使う意識が芽生えました。
- VPPを導入し、脱炭素化を実現するために使用されるタービンブレードを製造する際のエネルギー源を再生可能エネルギーに変えることで、CO2排出量をさらに削減し、気候変動抑制を実現。また、電気自動車を使用することで、より貢献しています。



工場に導入した大型換気設備

当社にとってのSDGsビジョン

サステナブルな生活を 当たり前の日常に

SDGsとは特別なもの、頑張るものではなく、日常生活の中にあるものだと考えます。社内で健康な体づくりがしたい、子育ては男女関係なくしたい、エネルギーについて考える、生産・消費について考えるなど、サステナブルな世界が当たり前になるよう、今後も働きやすい環境を整えていきます。

今後の展望と求めるパートナー像

誰にとっても働きやすい環境が 高品質・高精度の製品を生む

大切な電力を生み出す発電設備の専門メーカーとして、テクノロジーの進歩に合わせてCO2排出量の削減や気候変動の抑制を考慮し、対応し続ける技術者集団であるために、従業員の働きやすさを重視し、世界を明るく幸せにしていく高品質・高精度の製品を提供していきます。